

平成30年度

「中央小学校の教育」

学校長 札幌俊二

■中央小学校がめざす学校像

たくましく 希望に満ちた 元気な学校



「子どもの明るい元気な声が響き
笑顔あふれる学校」

— 学び合い 認め合い つなぎ合い を大切にして —

①「学び合い」

お互いの考えを出し合い、一緒に高め、深め合う

②「認め合い」

お互いの違いを認め合い、思いやりの心を育む

③「つなぎ合い」

お互いにつながり合い、磨き合いながら達成感、成就感を育む

■学校教育目標

心身ともにたくましく

自らすすんで学ぶ

心豊かな子どもを育てる

■めざす子ども像

◇考える子

- ・自ら学び、自ら考え、粘り強く問題を解決しようとする子ども

◇やさしい子

- ・互いのよさを認め合い、相手の立場や気持ちを大切に
する思いやりのある子

◇がんばりぬく子

- ・自らの健康や体力に関心を持ち、最後まであきら
めずにがんばる子

■平成30年度 学校運営の指針

◇「大阪市教育振興基本計画」(掲示板参照)

— 平成29年度から32年度まで —

◇大阪市の全市共通の「最重要目標」

①子どもが安心して成長できる安全な社会

(学校園・家庭・地域)の実現

- ・いじめ ・不登校 ・暴力行為

※「中央小学校いじめ防止基本方針」を熟読

- ・学校のきまりと規則

「中央小の約束」「学校安心ルール」

「中央小学校 なかよし言葉100」

※気持ちのよい 元気な「あいさつ」が

しっかりできる子どもを 全校あげて 育む

②心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための

学力・体力の向上

※運営に関する計画の指標をもとに 組織的に

全教職員一丸となって 学力・体力の向上に

取り組む

※「英語力」と「体力」の向上について、区役所

の事業を積極的かつ有効的に活用をしていく

5月から2月までの期間（時間は少ない）

※全市共通目標は「平成30年度 学校運営の指

針」（別紙資料を必ず参照）

■そのために取り組みたいこと

【子どもに意欲・自信（自己肯定感）をもたせたい】

①子どものよいところをどんどんみつけない

②つけたよいところを本人や周りの子に伝えたい

③つけたよいところを保護者に伝えたい

⇒保護者の思い・保護者との良好な関係づくり

【子どものがんばり（努力）を認めたい】

- ①結果（成果）だけで判断せず、過程をみつめたい
- ②何でもかんでもほめるのではなく、その子なりに
一生懸命にがんばったことをほめたい
- ③がんばったこと できるようになったこと のび
たこと それらがどんなに小さくても ほめたい

【子どもの優しさを伸ばしたい】

- ①ちょっとした優しい行為、仕草、ふるまいを見逃
さずにタイムリーにかつ具体的にほめる
- ②うれしい気持ちは、その場で言葉にして子どもに
伝えたい
- ③一度ほめたことを また ほめてやりたい

【一人一人の子どもに確かな学力を】

- ①基礎的基本的な学力
 - ・漢字力・計算力・本読み（音読）
- ②基礎的基本的な学習態度や主体的な学習習慣
 - ・話し手の話をしっかり「聞（聴）く」力
 - ・確かな授業規律が身につけている学級

③ 活用型の学力（思考力・判断力・表現力）

⇒ 「主体的・対話的で深い学び」

⇒ 「21世紀型能力」

⇒ 「主体的・協働的な学び」

- 「問題解決型の授業づくり」を積み上げる
- 毎時間の授業で、「めあて」と「まとめ」を明確にして、必ず板書。同時に児童のノートに書かせる
- 自分の考えや思いを筋道立てて書かす学習活動を毎日継続（根拠を明らかにして）
- 学び合う、発表し合う場を設ける

- 「覚える学習」⇒「覚えた上で、思考・判断して表現（書く・話す）する学習」への転換

－「インプット」から「アウトプット」へ－

※英語に親しむ（1年生～6年生）

「モジュール学習」

※移行期間の英語学習を計画的に行う

昨年度に学校全体で共通理解済み

- ・ 3年、4年は45分×15時間分
- ・ 5年、6年は45分×15時間を現行の
35時間／年に追加

※ICT活用力

※タブレット機能を積極的に活用

※学校図書館を積極的に活用

④習熟度別少人数指導

⑤放課後の補充学習

⑥教員の授業力の向上

- ・ 新しい学習指導要領 完全実施H32年度

30年度から先行実施で「大阪市小学校教育課程移行措置要領」を踏まえて指導

- ・ 「特別の教科 道徳」の組織的な研究

- ・ 平成30年度 区教員研究発表会で発表

※研究推進の3鉄則

- 学校の課題や子どもの実態の共有
- 同じ方向性（ベクトル）
- 組織的な取り組み

【地域との連携】 地域との絆づくり

① 地域学習の拡充

- 町たんけん ・ふれあい「もも」
- 車いす体験
- 地域の人材発掘と招聘

② 防災教育

※引き渡し訓練

※避難所開設に向けて

※金甌地域との交流 ⇒区役所防災との連携

- 消防署や区役所との連携

※防災カリキュラム（横断的） ⇒各学年で実践

【特に配慮を要する児童を基幹にしたい】

① 全教職員での共通理解

② 共に活動し、育つことの価値や意味を今一度考え

たい

- ③保護者との日常的な連携（保護者の思いやニーズと指導者・学校の思い）

【子どもの命を預かっているという自覚と使命感】

- ①児童の命と安全を守る ⇒ 組織的な対応

- ②いつ どこで 何が起きても不思議ではない

⇒ 危機感 危機意識

- ③「自分の命は自分で守る」 ⇒ 子どもの能力を育てる

【本当の優しさで子どもに接したい】

- ①許してはいけないことには、毅然とした指導を

⇒ 当然 体罰はゆるされない

- ②「優しさ」と「甘さ」はちがう

⇒「どんな子どもに育てたい」

⇒「そのためには がまん も必要」

子どもも 指導者も 保護者も

【保護者との信頼関係を強固に結びたい】

- ①学校の教育活動を積極的に発信したい

⇒ ホームページ・学校だより・学年だより等

②保護者も巻き込んだ教育活動を

③保護者の顔を見て話したい ⇒家庭訪問が基本

④子どもにとって よいことは連絡帳で

注意したいことは口頭で

⑤誠意をもって（自分がこの子の保護者だったら

先生にどうして欲しいのか）

⑥積極的に 学校公開 授業公開

⇒「開かれた中央小学校」

⑦中央小学校の先生はすばらしい

・保護者、地域から期待されている

・市民の目 厳しい目 コンプライアンス

（服装・電話対応・あいさつ・言葉づかい等）

【すばらしい 自慢の 教職員集団 チーム中央！】

①仕事は相互に厳しく しかし 絶対に守り合う

支え合う そんな教職員集団で

②「前例踏襲は“後退”」 と「不易と流行」

⇒何か教育に工夫を！ 何か仕掛けを！

- ・子どもも変わってきている
- ・保護者のニーズも変わってきている
- ・時代や社会のニーズも変わってきている

③風通しのよい 学校

④すきまの仕事 気づいた人がする できる人がする

⑤感謝 いたわり ねぎらい を言葉にして表そう
届けよう

⑥自分の仕事 人の仕事 ⇒ 誰の仕事

⑦健康管理 勤務管理 無理しすぎない工夫

⑧時には・・・

⑨子どもにとって 通ってよかった 中央小学校

保護者にとって 通わせてよかった 中央小学校

教職員にとって 勤めてよかった 中央小学校

みんなで そんな中央小学校にしたい！